

人事行政運営等の状況をお知らせします

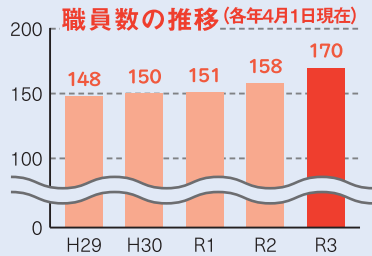
町職員の給与については、国家公務員の給与等を参考にしながら、さらに町議会の審議を経て条例や規則によって定められています。町民の皆さまにより一層のご理解をいただくために、給与や定員を含めた新富町における人事行政運営の状況を次のとおりお知らせします。詳細は町ホームページに掲載していますので、そちらもご覧ください。

職員の任免および職員数に関する状況

(統一試験 令和2年度実施分)					
職員の採用試験の状況	申込者数	1次試験受験者数(A)	1次試験合格者数	最終合格者数(B)	競争率(A/B)
一般事務(初級)	41	37	24	8	4.6
建築(初級)	0	0	0	0	—
土木(初級)	3	3	3	2	1.5
文化財(初級)	1	1	—	1	1
一般事務(社会人)	15	14	12	3	4.7
社会福祉士	3	3	—	2	1.5

定員管理の実績

令和3年4月1日現在
総職員数 **170**人



職員の離職状況

	定年退職	早期退職	自己都合
男	0	0	2
女	1	0	0
計	1	0	2

人事評価による昇給への勤務成績の反映状況

令和2年4月1日から令和3年3月31日までににおける運用	新富町		国	
	管理職員	一般職員	特定管理職員	一般職員
人事評価を実施した	○	○	○	○
標準に加え、上位および下位の区分も適用			○	○
標準に加え、上位の区分も適用				
標準に加え、下位の区分も適用				
標準の区分のみ適用	○	○		
人事評価を実施していない				

職員の給与の状況

人件費の状況 (令和2年度一般、国保、介護、後期医療、水道会計決算)

区分	令和2年度
歳出額	186億0,219万4千円
人件費	14億9,133万6千円
人件費率	8%

※この表は、歳出額に占める人件費の割合を示したものです。
※人件費には特別職（町長など三役及び町議会議員など）に支給される給料・報酬などを含みます。

職員の給与の状況

(令和3年度一般、国保、介護、後期医療、水道会計)

職員数(A)		170人
給与費	給料	6億0,221万9千円
	期末・勤勉手当	2億4,655万4千円
	職員手当	5,501万8千円
	計(B)	9億0,379万1千円
1人あたりの給与費(B/A)		531万6千円

※職員給与費は人件費から共済費、退職手当、特別職の給料・報酬を除いたものです。

職員の初任給の状況 (R3.4.1現在)

		一般行政職	
		高校卒	大学卒
新富町	初任給	15万0,600円	18万2,200円
	採用2年経過日給料額	15万8,900円	19万3,900円
国	初任給	15万0,600円	18万2,200円
	採用2年経過日給料額	15万8,900円	19万3,900円

特別職の報酬等

	給料月額	期末手当
給料	町長	70万3,000円
	副町長	56万5,000円
	教育長	53万5,000円
	議長	35万6,000円
	副議長	29万9,000円
報酬	委員長	28万8,000円
	議員	28万3,000円

職員の平均給料・給与月額および平均年齢の状況 (R3.4.1現在)

区分	一般行政職
平均給料月額	30万0,463円
平均給与月額	31万9,965円
平均年齢	39.6歳

町職員の給与については、国家公務員の給与等を参考にしながら、さらに町議会の審議を経て条例や規則によって定められています。町民の皆さまにより一層のご理解をいただくために、給与や定員を含めた新富町における人事行政運営の状況を次のとおりお知らせします。詳細は町ホームページに掲載していますので、そちらもご覧ください。

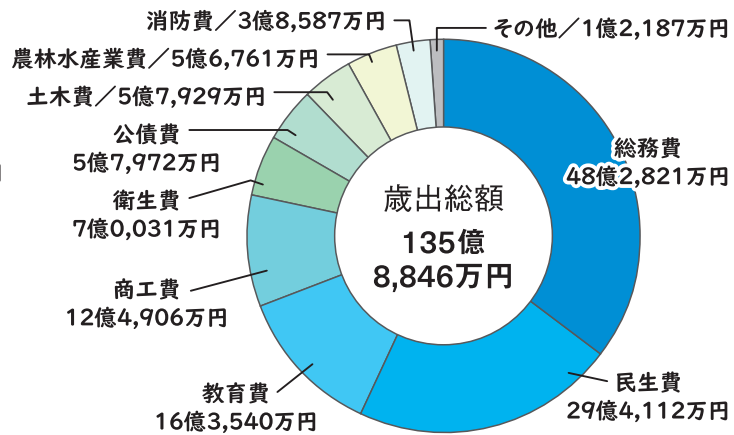
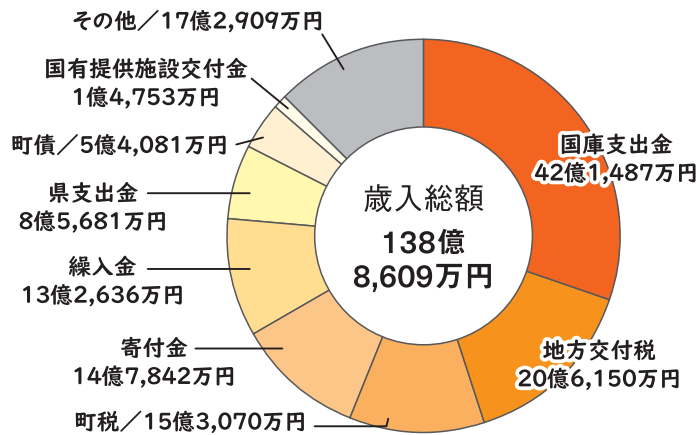
新富町財政事情を公表します

この財政事情は町民の皆さまに町の財政がどのように運営されているか、広く知っていただくため、年に2回公表しているものです。今回は、令和2年度の決算を中心に、町民負担の状況や町有財産の状況等についてお知らせします。詳細は町ホームページに掲載していますので、そちらもご覧ください。

一般会計決算

実質収支額は2億3,408万7千円の黒字決算となりました

令和2年度一般会計の決算額は、歳入が138億8,609万1千円、歳出が135億8,845万6千円で、歳入歳出差し引き額2億9,763万5千円から翌年度へ繰り越すべき財源6,354万8千円を差し引いた実質収支は、2億3,408万7千円となりました。
なお、この数値は国の決算統計に基づき、集計・分析した金額により表記しています。



健全化判断比率

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
新富町	— (赤字なし)	— (赤字なし)	8.4%	6.9%
早期健全化基準 (イエローカード)	15.0%	20.0%	25.0%	350.0%

各比率ともに数値が高くなると財政状況の悪化を示しますが、すべての比率で早期健全化基準内という決算状況でした。

町債(借金)・基金(貯金)の状況

町債の現在高	基金の現在高
58億6,611万円	34億9,128万円
前年度比 ↓462万円減	前年度比 ↑7億6,714万円増
町民一人あたり 34万2,507円	町民一人あたり 20万3,846円

特別会計および水道会計決算

各会計すべてが黒字決算となりました

水道事業会計の決算

区分	収入済額/支出済額	区分	収入済額/支出済額
収益的	収入 ▶ 3億0,205万4千円 支出 ▶ 2億7,474万5千円	資本的	収入 ▶ 929万5千円 支出 ▶ 1億2,584万3千円

特別会計の決算

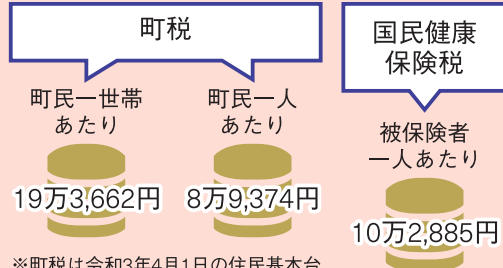
	歳入額	歳出額	実質収支額
国民健康保険事業	21億2,381万円	20億6,980万円	5,401万円
介護保険事業	17億4,200万円	16億7,473万円	6,727万円
後期高齢者医療事業	4億4,067万円	4億3,970万円	97万円
西都児湯情報公開・個人情報保護審査会	28万円	20万円	8万円
土地取得事業	1億7,769万円	1億4,359万円	※94万円

※翌年度繰越分除く

町有財産の状況 (令和2年度決算書抜粋)

区分	数量および金額
基金	34億9,127万7千円
土地	2,077,508㎡
建物	110,759㎡
出資による権利	2,390万4千円
有価証券	16億2,577万8千円

町民の負担状況 (令和3年3月末現在)



※町税は令和3年4月1日の住民基本台帳の世帯数、人口で除した数値。
※国民健康保険税は令和3年3月31日の被保険者数で除した数値。